

1. 科目名 (単位数)	金融論 (2 単位)	3. 科目番号	SBMP2135						
2. 授業担当教員	武田 嘉孝								
4. 授業形態	講義、グループディスカッション、グループワーク	5. 開講学期	秋期						
6. 履修条件・他科目との関係	経済学の基本を理解していることが望ましい。								
7. 講義概要	<p>金融論の場合は、入門であっても、講師によって扱う内容が様々に異なっている。それだけ金融という現象が幅広い経済分野にまたがっているからである。本講義は、金融論の基礎について体系的・包括的に全体像を学ぶだけでなく、そうした知識・理論を用いて、基礎的な個人の金融行動選択の方法を学ぶことに特徴がある。予備知識が少ない学生でも理解できるようになるべく平易に解説する。</p> <p>前半では、金融論の基礎知識・理論として、金融の役割、金融の方法、金融取引を行う場である金融市場、貨幣、金融機関、金融政策を解説する。後半は、個々の経済主体の意思決定に必要な基礎知識として、お金を融通することの対価である利子率、家計や企業等の金融行動に関する基本的な理論や方法を解説する。</p> <p>講義の進行方法については、受講者の理解を深めるため項目ごとに問題演習を行う。また課題として提出するレポートをもとに、グループディスカッションを行い、理解を深める。</p>								
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日本の金融経済の現状を把握し、説明できるようになる。</li> <li>2. 金融の基礎理論を理解し、説明できるようになる。</li> <li>3. 預金や株式、社債などの金融商品の取引や、その結果である利益と損失の発生を理解し、説明できるようになる。</li> <li>4. 家計や個人の金融行動の選択に関する考え方や方法を習得し、日常生活で実践できるようになる。</li> <li>5. 金融の理論や方法を企業や社会福祉関連施設等の運営・管理において応用できるようになる。</li> </ol>								
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎時間講義内容をまとめてレポートを提出してもらう。</li> <li>・後半に簡単な計算問題の課題を出し、講義終了後に提出する。</li> </ul>								
10. 教科書・参考書・教材	<p><b>【教科書】</b> 『最短合格 3 級 FP 技能士』株式会社きんざい、2017。</p> <p><b>【参考書】</b> 家森信善著『はじめて学ぶ金融のしくみ 第 4 版』中央経済社、2013。 日本経済新聞社編『ベーシック 金融入門』日本経済新聞出版社、2014。</p>								
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. テキストの輪読を通じて、金融論の基礎知識が理解できているか。</li> <li>2. (中間) レポート課題に対して的確に検討し、説明できるようになっているか。</li> <li>3. 期末試験 (又はレポート) を通じて、専門用語等を理解し、説明できるようになっているか。</li> </ol> <p>○評定の方法</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 授業への積極的参加</td> <td>総合点の 10%</td> </tr> <tr> <td>2. (中間) レポート</td> <td>総合点の 30%</td> </tr> <tr> <td>3. 期末試験 (又はレポート)</td> <td>総合点の 60%</td> </tr> </table>			1. 授業への積極的参加	総合点の 10%	2. (中間) レポート	総合点の 30%	3. 期末試験 (又はレポート)	総合点の 60%
1. 授業への積極的参加	総合点の 10%								
2. (中間) レポート	総合点の 30%								
3. 期末試験 (又はレポート)	総合点の 60%								
12. 受講生へのメッセージ	<p>90 年代のバブル崩壊以降の厳しい経済環境下において、経済的リスクが国や企業から生活者へと次々に転嫁されてきている。このため、正しい金融リテラシーを身につけ、主体的に堅実な金融行動を実践できるように自らを変えてゆくことが大切になってくる。社会福祉の場でも、正しい金融リテラシーに基づいた活動が今後はますます求められてくるはずである。したがって、本講義の内容が今後、生活者や職業人としての自分の意思決定にどう関わってくるかをなるべく意識しながら受講してほしい。</p>								
13. オフィスアワー	授業中に通知する。								
14. 授業展開及び授業内容									
講義日程	授業内容	学習課題							
第 1 回	・金融新時代	事前学習	戦後日本の社会システムの変革を確認しておく。						
		事後学習	金融ビッグバンの現象を認識する。						
第 2 回	・金融経済を取り巻く環境	事前学習	講義用に配布した資料を読んでおく。						
		事後学習	現在の金融経済環境の特徴をまとめる。						
第 3 回	・日本の金融制度の変遷	事前学習	消費者保護に関する問題意識を持つ。						
		事後学習	消費者保護に関する各種法令の必要性を理解する。						
第 4 回	・金融商品販売法、消費者契約法、金融商品取引法、個人情報保護法	事前学習	プリントの内容を黙読する。						
		事後学習	講義内容を復習し、まとめた内容をレポート提出する。						
第 5 回	・金融、経済の基本	事前学習	金融改革の流れを知っておく。						
		事後学習	講義内容を復習する。指示された練習問題を解く。						

第6回	<ul style="list-style-type: none"> <li>貨幣 貨幣の機能 今日の貨幣 マネーストック</li> </ul>	事前学習	経済の構成要素とメカニズムをまとめる。
		事後学習	講義内容を復習する。指示された練習問題を解く。
第7回	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本銀行 日本銀行の設立、機能、目的 マネタリーベース</li> </ul>	事前学習	日本銀行の機能について調べておく。
		事後学習	講義内容を復習する。指示された練習問題を解く。
第8回	<ul style="list-style-type: none"> <li>金融市場の変動要因</li> </ul>	事前学習	金利の決まり方の要因を考える。
		事後学習	講義内容を復習する。指示された練習問題を解く。
第9回	<ul style="list-style-type: none"> <li>主要なマーケット指標</li> </ul>	事前学習	金融の意味と金融市場の仕組みを考える。
		事後学習	講義内容を復習する。指示された練習問題を解く。
第10回	<ul style="list-style-type: none"> <li>景気 物価指標</li> </ul>	事前学習	GDPの意義を考える。
		事後学習	講義内容を復習する。指示された練習問題を解く。
第11回	<ul style="list-style-type: none"> <li>金融政策 金融政策の運営方法 日本銀行の政策手段 金融政策による物価への効果</li> </ul>	事前学習	金融政策の種類を考える。
		事後学習	講義内容を復習する。指示された練習問題を解く。
第12回	<ul style="list-style-type: none"> <li>利子と利子率(1) 単利方式と複利方式 現在価値の求め方</li> </ul>	事前学習	単利と複利の違いを考える。
		事後学習	利回りの意味と課税方式を理解する。
第13回	<ul style="list-style-type: none"> <li>利子と利子率(2) 係数表を用いた金額計算</li> </ul>	事前学習	6つの係数の意味を理解する。
		事後学習	講義内容を復習する。指示された練習問題を解く。
第14回	<ul style="list-style-type: none"> <li>家計の金融行動(1) ライフサイクルと家計の取組み方</li> </ul>	事前学習	ライフサイクルと家計の取組み方を考える。
		事後学習	講義内容を復習する。指示された練習問題を解く。
第15回	<ul style="list-style-type: none"> <li>家計の金融行動(2) 最適な金融資産選択の決定</li> </ul>	事前学習	金融資産商品の種類を調べておく。
		事後学習	講義内容を復習する。
期末試験			